

鴻巣市メインキャラクター  
「ひなちゃん」



鴻巣市産業観光館「ひなの里」  
人形店の蔵を利用しています



勝願寺の山門  
勝願寺は徳川家とゆかりが深く、葵の紋の使用が許可されていました

## 歴史のみち広域景観形成プロジェクト

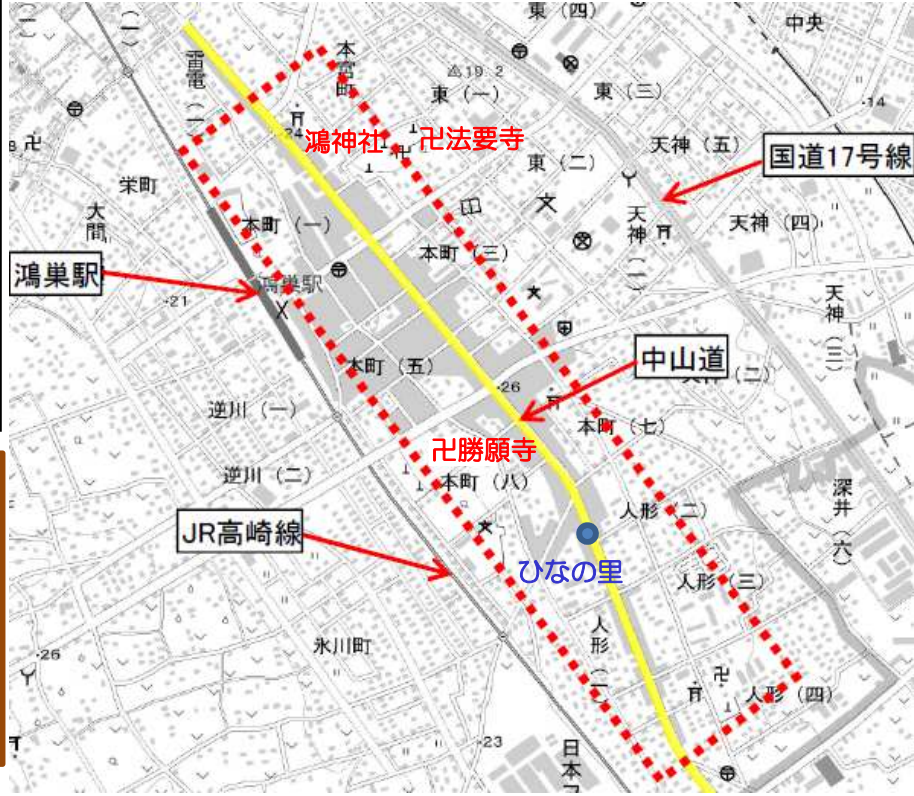
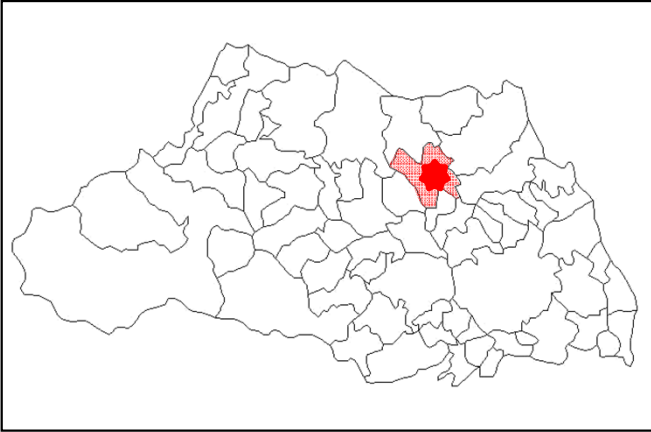
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

### 歴史のみち 景観モデル地区



# 鴻巣宿の概要



- 地区の概要**
- 交通  
JR高崎線鴻巣駅東口下車徒歩12分
  - なりたち  
中山道沿線には歴史的にも貴重な寺社・仏閣等の資産や、地域を代表する伝統産業である「雛人形」づくりの拠点

## 景観資源

勝願寺(しょうがんじ)



鴻神社(こうじんじゃ)



鴻巣市産業観光館「ひなの里」



日本一高い！！ピラミッドひな壇



高さ7m  
31段

# 鴻巣宿の取組



上  
ひな祭りに合わせて、  
ひな人形を飾りつけ、  
館内を公開しました。

下  
5月開催のこうのす花  
まつりではオープンガ  
ーデンに参加し、園内  
を公開しました。



毎年1月に行われている梯子乗り、当日は地元の人形町町内会  
から協力をいただき、おしるこのおもてなしをしました。



鴻巣女子高校とお茶会  
(ひなの里：ひなまつり)

※喫茶営業はイベント時のみ



鴻巣ひな人形協会による  
絵付け体験教室  
(ひなの里：夏休み)



まち歩きで立ち寄  
った人形工房（着  
物着付けの実演）

**※見学をご希望される方は、事前にご連絡ください。**  
詳細は 8ページをご覧ください。

# 鴻 巢 宿

鴻巢市内の中山道沿いの町並みは、時代の流れとともに変わりつつありますが、鴻巢宿の歴史に大きく関わった寺社や幾つかの町屋が現存しており、当時の町並みの面影を感じることができます。また、人形町では江戸時代より続く雛人形の製作が今もなお継承されており、鴻巢の歴史文化が受け継がれています。

## 鴻巢宿と中山道

鴻巢宿は、江戸から数えて7番目の宿駅として、慶長7年（1602年）に本宿（現北本市）より移動して成立しました。忍行田道・松山道などの幾筋かの街道の分岐点にあったことから、交通の要衝として大きく発展しました。天保14年（1843年）には宿の町並み15町余（約1,620m）、人口2,274人、本陣1軒・脇本陣1軒・旅籠屋58軒（街道平均25軒）を含む戸数566軒との記録が残されています。

## 人形のまち

鴻巢には「人形町」という町名があり、その名のとおり江戸時代より雛人形の製作が行われ、現在も工房や店舗が建ち並んでいます。

当時、近代関東三大ひな市（鴻巢・越谷・江戸十軒店）のひとつに数えられ、特に着物の着付けでは関東一と称されました。やがて茶屋や髪結なども現れると、鴻巢宿の加宿として発展しました。



## 勝願寺(しょうがんじ)



勝願寺は、天正年間はじめ（1573～1591年）惣誓清巖（そうよせいがん）により中興されました。

その後、文禄元年（1592年）の鷹狩の際に勝願寺を訪れた徳川家康が、清巖の弟子で勝願寺二世住職であった円誓不残（えんよふざん）に深く感銘を受け帰依したことから、「葵」の紋の使用を許可し、30石の朱印地を与えました。

# に つ い て

## 鴻神社(こうじんじゃ)

明治6年(1873年)に鴻巣宿の雷電社・熊野社・氷川社が合祀され鴻三社となり、明治35年(1902年)頃に東照宮などが合祀され、鴻神社となりました。境内には、樹齢700年(推定)の「夫婦銀杏」があり、夫婦円満・子宝にご利益があると言われています。

## 法要寺(ほうようじ)

寺紋の「梅鉢紋」は、江戸初期に加賀百万石の藩主前田氏に宿所を提供したことへの御礼として家紋を拝領したと伝えられています。

## 鴻巣御殿(こうのすごてん)

将軍家の鷹狩の宿泊施設として、徳川家康・秀忠・家光と3代にわたって使用されました。将軍家の来訪がなくなると御殿も廃れ、その跡に東照宮が設けられました。鴻巣御殿は「江戸図屏風」にも描かれており、当時の様子を知ることができます。「江戸図屏風」の複製は、鴻巣市産業観光館でも見学できます。

## 鴻巣市産業観光館「ひなの里」



明治期の蔵(平成25年10月8日、埼玉県景観重要建造物に指定)を中心とする歴史的建造物で、鴻巣市の観光情報の発信基地となっている施設です。館内には、鴻巣雛や鴻巣宿などの鴻巣市の歴史や文化にまつわる数々が展示されているほか、特産品の販売スペースなどがあります。

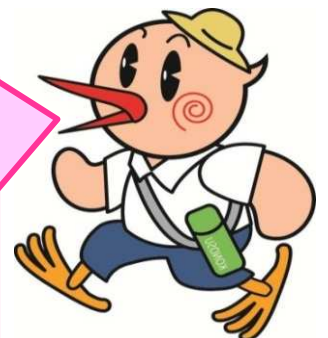
開館：9時～17時

休館日：毎週水曜日(祝祭日の場合は翌日)  
年末年始

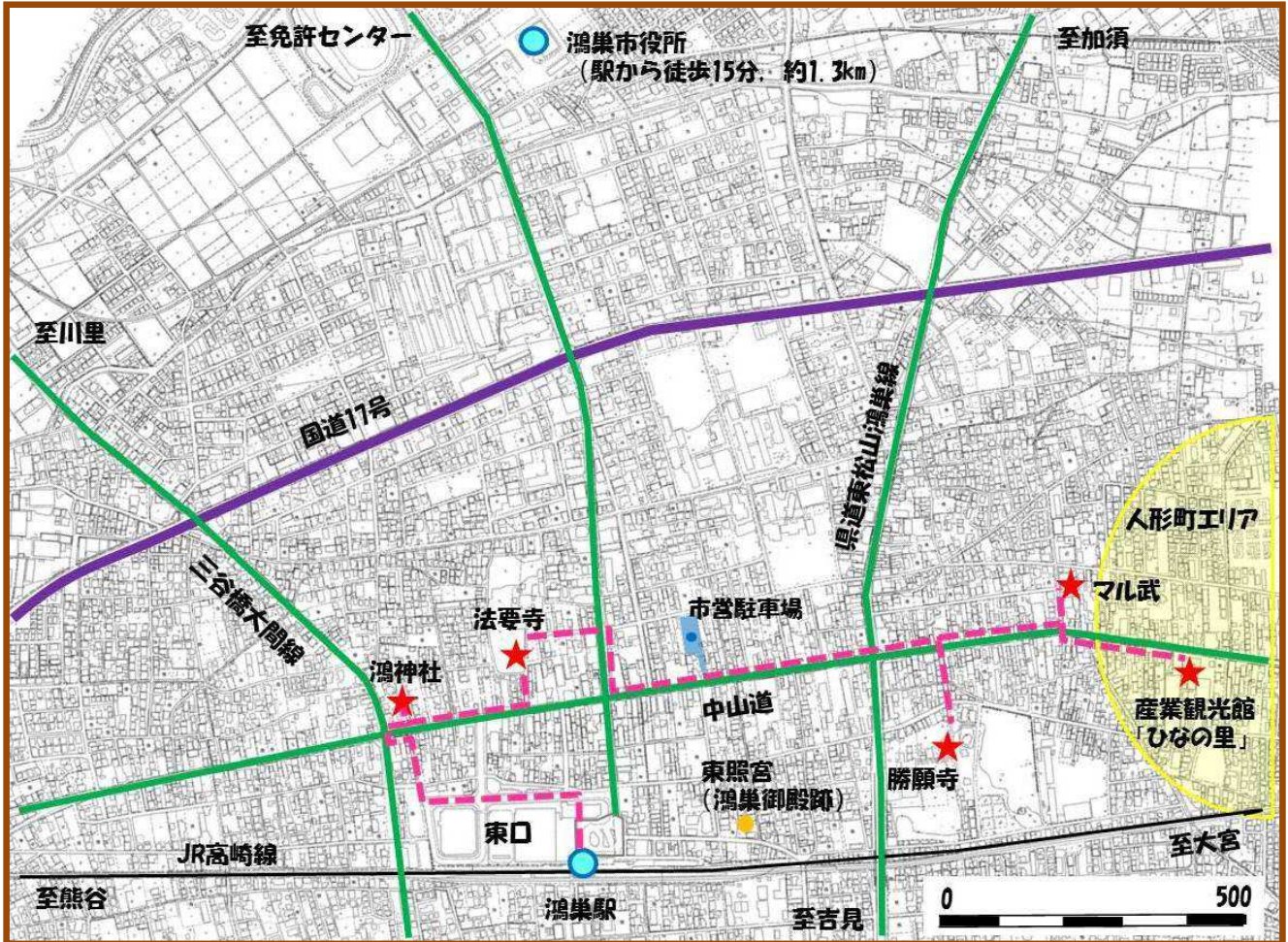
入館料：無料

## 日本一高い!! ピラミッドひな壇

例年2月上旬～3月上旬の約1ヶ月の間、「びっくりひな祭り」を開催していますので、開催期間中もぜひお越しください。

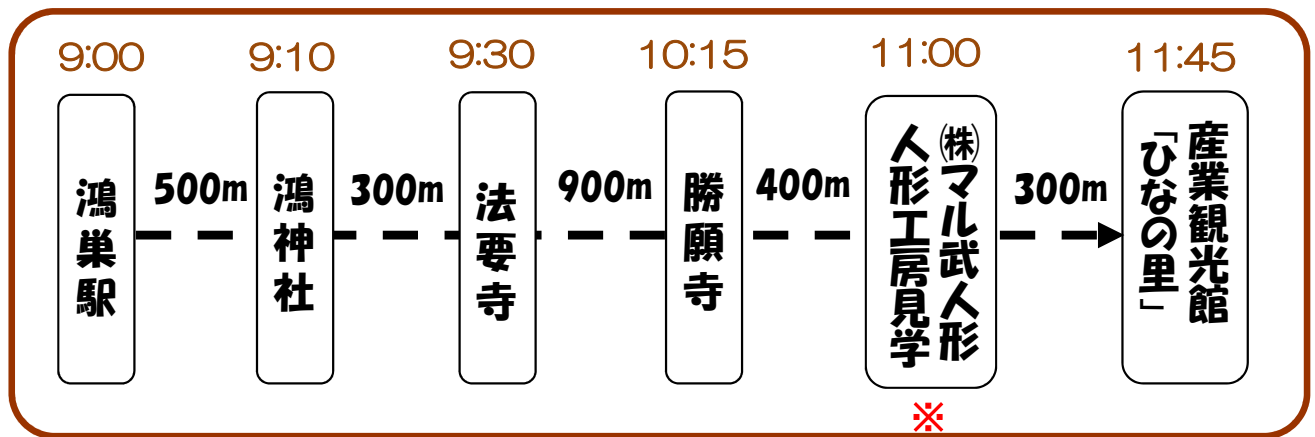


# ～まち歩きコースの御案内～



※ 記載の時間は、まち歩きの所要時間の目安です。

総距離：約2.4km



※見学をご希望される方は、事前にご連絡ください。

見学：10時～12時 13時～15時（土日及び祝祭日を除く）  
連絡先：(株)マル武人形 048-541-3517

マル武人形さんからは人形工房の見学は時間帯に制約（昼休みや休日）がありますが、個人でも大歓迎とのことです。



鴻巣郷土史会  
鴻巣市 都市計画課  
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは三者共同での取組みです！